

# しん じゅ 新 樹

水と緑のまちをイメージし、男女平等の葉が  
青々と茂るようという願いを込めました。

前橋市男女共同参画情報誌

回 覧

23号

2010年3月

前橋市のホームページでもご覧になれます

前橋市 新樹 検索

## ◆特集◆

### 育児休業取得パパの座談会 .....P2・3

イクメンのすゝめ 育児の極意を伝授します!



- イクメンとは? 子育てパパへオススメの一冊 .....P4
- 育児・介護に関する休業等の制度

## ◇おじゃまインタビュー



女性と子どもの支援センター もぎ なおこ  
NPO法人ひこばえ 茂木 直子さん .....P5  
～伐った根株から新芽(ひこばえ)が出るように～ ～これで暴漢撃退 トラウマ解消～



あくざわ ちよ  
阿久澤 千代さん .....P6  
富士見村農産物直売所 初代代表  
～自分の人生を生きたい～ ～「生きがい」集め 地域が元気!～



かね こ まさし  
金古 正士さん .....P7  
前橋市男女共同参画審議会会長 元粕川村教育長  
～母や姉への女性差別に疑問を感じる～  
～すべての人々に尊厳を～ ～真の男女平等を目指して～

## ◇男女共同参画基礎講座レポート .....P6・7



- 海外レポート .....P8  
～ホンジュラスからの手紙～
- 男女共同参画室だより  
**川柳受賞作品発表!**
- 編集後記

### \*男女共同参画

「参加」は仲間になることで、「参画」は方針決定の場に加わることです。  
女性と男性が、社会の対等なパートナーとして、社会のあらゆる分野に共に参画し、喜びも責任も分かち合う社会を目指しましょう。

# 育児休業取得パパの座談会

## イクメンのすゝめ 育児の極意を伝授します!

今回は育児休業を取得した経験のある男性にスポットをあて、座談会を行いました。男性の育児休業取得者がなかなか増えない中、地域の先駆けになろうと率先して取得した人達がいます。

取って良かったと思うことや取得したから分かる苦労話などを中心に話を伺いました。

どのパパさんも、顔を輝かせながら生き生きとお話されていたのが印象的でした。

(記事：若井)



▲お話しを伺った(左から)石原さん、齊藤さん、武士さん、荒井さん、座長&新樹編集委員の若井さん

### 取得するには… 周囲の理解と配慮が必要?!

**座長** 育休を取るにあたって、家族や職場での反応はどうでしたか?

**荒井** 私の両親は隣の家に住んでいるので、わざわざ父親が取らなくても…という感じでした。でも夫婦一緒に子育てがしたいと意志を伝えて理解してもらいました。職場の方は特に問題ありませんでした。

**武士** 私の周りでは反対意見を聞いたことがなく、応援されました。妻の両親もとても協力的でしたよ。

**齊藤** そういう制度があるなら取って見たら?と好意的な感じでした。ただ、妻や妻の両親は抵抗があるようだったので、1年間ではなく半年間の取得にしました。



**石原尚樹さん** (32) 玉村町在住  
期間：長男(第一子)が1歳2ヶ月から1年間  
動機：児童福祉の仕事をしていて「育休は良い」という気持ちになり取得。

**石原** 取得期間を半年か1年かで迷っている時に、長く取った方がいいと言われるくらい職場の抵抗はなく、両親も協力的でした。

**座長** どのくらい前から周囲に話していたんですか?

**荒井** 1年前には上司と同僚に意志を伝えていましたね。

**武士** 妻が妊娠中からだから…1年以上前からことあるごとに話をしていました。

**座長** 事前に伝えて準備をする必要がありますね。引継ぎなども考えると、周囲への配慮も大切ですね。

### 育児の悩みを共有でき 妻と対等になれた

**座長** 育休を取って良かった事がありますか。

**石原** 今まで全く料理をしていなかったけど、自分が作ったものを食べてくれた時は嬉しかったです。自信に繋がったので良かったですね。

**荒井** 育児に専念したことで親の有り難さを痛感しました。交流や協力も増え、関係が深くなりました。

**武士** 上の子を学童に入れずに一緒に遊べたのが良かったですね。

**齊藤** 私もそれはありましたね。それから、家事や育児をした分、苦労や悩みがわかり、妻と対等な関係になったことも良かったですね。

**武士** 悩みと言えば栄養の偏りが気になり、心配になりましたよ。

**荒井** 昼寝もね…午後はちゃんと寝かせなくちゃと思い、初めの頃は神経質になりすぎていました。

**石原** 寝ない日もあれば、料理を作っている間や食事前に寝てしまう日もありました。起こしても結局ぐずって食べてくれないんですよ…

**荒井** 子どもに気を使いながら、自分の時間が作れるかどうか決まりますよね。でもすぐに夕飯の準備の時間になってがっかりしたり…

**石原** 仕事と違って自分のペースではなく子どものペースになるので、それがなかなか自分の中で処理できなかったですね。初めの頃は妻の帰りが待ち遠しかったですよ…



**齊藤成久さん** (40) 玉村町在住  
期間：長女(第二子)が1歳2ヶ月から半年間  
動機：「実際に育休を取る男性がいるの?」と思っていたが、元々興味があり、上の子の育児にはあまり関われなかったので思い切って取得。



**荒井清生さん** (35) 前橋市在住  
 期間：長男(第一子)が1歳6ヶ月から半年間  
 動機：妻の勧めで。不安もあったが、「二度とないチャンス」と取得。

### 施設の目利きも極める?!

**荒井** ドライブを兼ねて図書館などに行くと子どもの目線でどんな本があるかとか、動きやすい配置かなど見るようになりました。

**石原** 私も色々な所に連れて行ったので、公園に詳しくなりました。子ども向きかどうかとか、トイレの設備が充実しているかとか。

**齊藤** トイレはその施設の姿勢が見られます。男性トイレにもオムツ替えシートやベビーチェア、子ども用の便座が壁にかけてあり、最近では充実してきましたよね。

**石原** そういう所には自然と子ども連れの人はいきますよね。お母さん同士のネットワークですぐに評判が広がってきますよ。

### 「育児＝ママ」を実感 世間の目はまだまだ…

**武士** 平日の昼間に子どもといると「え？」って不思議そうに見られるので、聞かれてもいないのに「育休中なんです」って自分から言ったりしていました。

**座長** パパだけで子どもを連れていくと珍しいんでしょうね。

**荒井** 「今日はパパと一緒にいいね」とか話し掛けられますし…。

**一同** ありますよねー。

**齊藤** 健診に行っても「パパで分か

るかな」とか「失礼ですけど奥さんはどうしたんですか」とか。

**石原** いつもパパが見てるんだけどな…って思うんですね。

### どうすれば 育休パパが増えるか

**武士** 企業にとってメリットがあるという事が分かってもらえれば取りやすい環境になるんじゃないかな。取得者がいると国から企業へ助成金が出ますし、イメージアップにもつながりますよね。

**石原** でも一番の問題はお金だと思います。手当てが出る期間もありますが、私の場合1年間は無収入でした。金銭的な支援がもう少しあるといいと思います。

**齊藤** 周りにも取りたいという人はいるけど、「奥さんの収入だけではとても」って諦めていましたよ。

**石原** 5月に2人目が生まれますが、住宅ローンの返済があるので…今回の育休は考え中です。

**齊藤** でも最近は男性も育児に参加したいと思っている人が増えていると感じるし、職場の女性は「育休の制度があるなら取ってもらいたかった」と話していましたよ。

**石原** もう一押し…二押し、国からの支援があるといいですね。

**荒井** 子どもと一緒に横になって寝顔を見ている時って「幸せだな」って



**武士浩之さん** (39) 玉村町在住  
 期間：長女(第二子)が11ヶ月から1年間  
 動機：妻の勧めで。仕事やメディアの影響もあり、専業育児も面白そうだと思い取得。

思います。あの感覚をみんなに味わってほしいですね。

**一同** うんうん！そうですね！

### 最後に取得を考えている パパたちに一言

**荒井** たとえ短い期間でも、子どもに専念する期間を作ってみてほしいです。育休中は普段できない経験がたくさんできるので視野も広がるから、仕事にも活かれますよ。

**石原** 思い切って会社の人に早めに相談すれば道が見えてきます。諦めてしまうのはもったいないです。

**齊藤** とりあえず何も考えず取ってみることで。考えれば考えるほど取れなくなりますからね。

**座長** みなさんに続いてこれから育休を取る人が増えると嬉しいですね。貴重なお話をありがとうございました。



### 前田由美子先生(前橋国際大学地域共生研究センター研究員)に、父親の育児について聞きました!

育休で子育てに専念する日々を過ごす、子どもとの関係に自信がもてるようになります。子どもが泣いても、わめいても、逃げられない、ママにも頼めない。わがまま放題の子どもを自分で何とかする経験は親の自信を育てます。思春期や青年期といった難しい時期を乗り越える力になります。

また、大変な子育てと一緒にがんばったことは、妻との難しい中高年期を乗り越える力にもなります。父親の育児は長い目で見た親子関係、夫婦関係に大きな賜物をもたらすのです。休暇をとられた皆さんは、10数年後に実感できるでしょう。

## これから父親になる、または 子育て期のパパへ

おススメの一冊!

最近では「イケメン」ならぬ、「イクメン」と言う言葉を耳にするようになりました。

「イクメン」とは、「育児する男性」のことを言います。この言葉に象徴されるように子育ても仕事同様に楽しみたいと言うパパが徐々に増えています。



このハンドブックは、厚生労働省が先輩パパたちの経験をもとに、仕事と子育てを両立させ、相乗効果を生み出すためのヒントをまとめたものです。

夫婦で一緒に読んで話し合えるきっかけにぜひご活用ください。

下記のURLから冊子データがダウンロードできます。

<http://www.papa-wlb.jp/>



▲先輩パパたちの子育て体験談や育児休業取得のための手続きや心構え、気になる経済的な話など細かく解説されています。

# 子育て・介護をしながら 仕事が続けられる

## 育児・介護休業法

男女ともに子育てや介護をしながら働き続けることができる雇用環境を整備するために育児・介護休業法が制定されています。

働き盛りと子育て盛りの時期は同時進行です。今しかできないこと今だからこそできることがたくさんあります。自身と家族のために上手に仕事と家庭の両立をはかりましょう。

なお、この法律の改正法が今年施行(中小企業に対し一部猶予措置あり)されることになり、さらなる雇用環境の整備が行われます。

## 働くパパママの子育て支援制度

**ポイント** パパの子育てを応援します!

### 育児休業制度

1歳未満の子を養育するため取得できる休業制度。条件によっては1歳6ヶ月まで取得可能。

(改正法で制度がさらに拡充)

### 勤務時間の短縮等の措置

3歳未満の子を養育する労働者について、事業主は短時間勤務制度等を設けなければならない。

(例:1日6時間勤務など)

### 時間外労働・深夜業を制限する制度

未就学の子を養育する労働者に、月24時間、年150時間を超えて時間外労働させてはいけません。また深夜業も同様の労働者は免除される。

### 子の看護休暇

未就学の子を養育する労働者は、病気やケガの看護のために年5日まで取得可能。

(改正法で制度がさらに拡充)

これらの制度を奨励する個人(労働者)、事業主への国の給付金や助成金もあります。

上記の各制度は、労働者から事業主に対して請求し取得が可能になります。

雇用の期間や形態でそれぞれの制度が取得できない場合があります。また、労使協定で定められた一定の労働者も制度が取得できない場合があります。

また、これらは法律で定められた最低基準となりますので事業所によっては、記載の内容より条件が良い場合があります。

詳しくは厚生労働省HP「職業生活と家庭生活との両立のために」をご覧ください。

### 介護も!

疾病などで家族の介護が必要になった場合には、介護休業も取得できます。

## 女性と子どもの支援センター NPO法人 ひこばえ

### 伐った根株から 新芽(ひこばえ)ができるように

専業主婦だった茂木さんには30余年前、親しくしていた友人が夫の暴力で命を落したという辛い体験があります。話を聞いていながら助けられなかった自分を責めていました。また、息子さんからは「お母さんはちゃんと僕の話聞いてくれたことがない！」と言われ、何でも話しあってきたと思っていただけに非常にショックだったそうです。

こんな自分をなんとかかしたいという思いでカウンセリングの勉強を始めました。つついとお節介や批判、アドバイスしたくなる自分と向き合う日々が続きました。

ある日「フォーカシング(※)」で、幼少時からもやもやしていた自分の根っこに気付いたことで、以後「からだ」がスーッと楽になっていったそうです。それが息子さんにも分ったのでしょう「お母さんこの頃変わったよね！」と言われたとか。

「女性や子どもが生き生きしていることは平和の象徴である」と、その時、茂木さんは感じたといいます。

雨風で傷つき折れてしまった木でも、環境を整えば、いつでもそこから新しい芽(ひこばえ)が出てくることを信じ、「こんな私でもお役にたつな



理事長

茂木直子さん

認定心理士・家族相談士・  
産業カウンセラー・  
米国The Focusing Institute  
認定トレーナー

ら今も目に見えない形で束縛され、悩んでいる女性や子どもたちへの支援をしたい」と、ひそかに思うようになりました。

8年前、誰にでも気軽にカウンセリングを利用してもらうために友人と「SKYカウンセリングセンター」(多摩市)を立ちあげ、悩みを抱えた人たちがくつろげるよう「蓼科森の家」を提供し、自然の中で寝食を共にしてきました。

4年前に頼まれた群馬県での相談支援が契機となり、故郷で何かできることをと思い立ち、女性と子どものための「NPO法人ひこばえ」の設立に至ったといいます。主に暴力に苦しむ女性や子どもたちへの援助と予防教育のための活動を行っています。どこに相談に行ったらいいのかわからないという人たちにも、気軽に来てもらえる場所として開放しています。

### これで暴漢撃退 トラウマ解消

古武術とEFTを体験しました。講師は飯田真弓(甲野善紀先生の愛弟子)さん。「古武術における心と身体の仕組み」の実技では、力をぬく身体のこなし方、相手の力を利用することにより、女性でも暴力回避に大きな力を発揮できることを受講者と共に実感しました。これは護身法のみならず、今介護やスポーツの世界でも注目されています。

午後は「トラウマ解消のEFT(エモーショナル・フリーダム・テクニック)研修。これはトラウマに悩んでいる人が生きやすくなるためにお勧めの感情解消療法です。今生じている問題を身体のどの部分にどのように感じるか等を整理シートに書き込み、身体をつま(約8カ所)をタッピングすることによって、心身に安らぎをもたらすものでした。

百聞は一見にしかず、一日中「目からウロコ」の連続でした。



(取材・記事：鈴木、橋本)

※「フォーカシング」とは米国の哲学者ユージン・ジェンドリン(カール・ロジャーズの愛弟子で、後の共同研究者)が提唱した「フォーカシング指向心理療法」というカウンセリングの一つの療法。からだで感じる実感に触れて、自分らしい自分になるために有効な療法。子育て教育分野、創作芸術分野、福祉医療分野等様々などところで有効に使われている。

## 具体的な活動内容

- 子育て、家族、職場及び青少年の心の悩み等、専門の心理士によるカウンセリングを行っています。
- 若年者の性被害、職場でのパワーハラスメント、家庭内暴力(DV)等の自助グループ、暴力防止プログラム、女性の護身術を実施し、被害の拡大防止、教育的啓蒙活動に当たっています。

NPO法人ひこばえ 問い合わせ先  
事務局：前橋市三俣町一丁目4-13

TEL：027-268-5606  
FAX：050-3661-1499

E-mail：hikobae@major.ocn.ne.jp  
http://www11.ocn.ne.jp/~hikobae/



# おじゃまインタビュー



あ く ざ わ ち よ  
**阿久澤 千代さん**

富士見村農産物直売所 初代代表

## 自分の人生を生きたい

「母の作る味噌の味を残していきたいと思ったの」——“赤烏居味噌”の産みの親である阿久澤千代さんは、笑顔で言います。農家の嫁として無我夢中で働いた二十数年間。「見た目が悪くても、安全でおいしい野菜を求める時代がきっと来る」と確信し、前橋で対面販売の朝市を開きます。この時の女性達のきめ細やかな対応が評判となりました。

その後、念願かなって地場産の大豆による味噌を作るようになり、33人の仲間と富士見村農産加工組合を設立しましたが、当時はまだま

だ家族の理解は得られなかったと言います。やがて、妻たちの熱心さに加え手作り味噌の味が評判となるにつれ、夫たちが最初の理解者となりました。次第に姑、舅たちにも理解の輪が広まっていき、周りの人を巻き込み、役場からの支援が得られるようになるまでにそれほど時間はかかりませんでした。

さらに、そんな素人集団に対して、販売や経営のアドバイスをしてくれる経営者も現れ、平成4年10月に現在の富士見村農産物直売所を設立。味噌をはじめとする伝統食を基本とした無添加の手作り加工品と地場産の農産物の販売を始めました。当時、このような直売所はまだ珍しく、女性だけの起業によるものとして、全国でも注目を浴びました。

## 「生きがい」集め地域が元気！

直売所は土・日曜日のみの開店で、売上額が年間1億円を越え、村の活性化の拠点となりました。

契約農家は多いときで500軒を超

え、野菜が少しでも売れるとあってこれまで農業を引退していたお年寄りたちも加わってきました。収入を得ることで孫に小遣いをやり、温泉旅行に出かけ、俄然元気になり医者にかかることが減っていきました。

その後、阿久澤さんは名誉農村生活アドバイザーとして農業・農村男女共同参画推進事業地域検討委員会の代表を務め、「ふるさと富士見プラン」を作成。毎年富士見地区の男女共同参画フォーラムに関わってきました。

「ここに必要な人になる」というのが阿久澤さんのモットーだそうです。笑顔がとてもチャーミングなのは、家族を支えてきた忍耐力と底力が培ったパワーで、周りの人々の心も動かし、何事も成し遂げられるという確信を持っているからだと感じました。

今までは「富士見村の阿久澤さん」でしたが、これからは「前橋市の阿久澤さん」として、活躍して欲しいと願わずにはられません。

(取材：角田)

## 男女共同参画基礎講座を開催

今年度は、定年後や定年準備期間の方を対象とした、長い人生の午後をいきいきと豊かに暮らすための応援講座を開催しました。

3週連続で開催された講座は、とても楽しく、有意義でした。申し込みが定員をはるかに超え、やむなくお断りをしなければならなかったと開会の挨拶で担当者からお聞きしました。講師の方々の魅力もありますが、シニアライフの生き方を学ぼうとする市民の熱心さ、関心度の高さもすばらしいと思いました。3名の講師陣のお話に感動したり、共鳴したり、そして「よし！一歩踏み出そう、自分を変えよう、越えよう」とパワーをいただいたのは私だけではないと思います。(鈴木)



第1回11月13日(金)

「自分を磨き、  
もっと自分を好きになる」

～思いを伝える  
コミュニケーション術を味方にする～

く ぼ た け い こ  
久保田 桂子さん

(有)イマージュ

始終笑顔を決やらず、経験と実践に培われたお話と、挨拶・表情づくりのロールプレイングを交え、2時間はあっという間に過ぎました。特に「コミュニケーションは笑顔の温かい挨拶からはじまる。そこから人の「縁」が繋がる」と言葉の大切さを強調されました。

「言葉によって自分が変わる、心が変わる、だから相手も変わる。言葉は魔法・魂が宿っている。明日を創る言葉を使う。自分を磨き、自分を好きになることは他人とこちょい接触が図れる。それは必ず自分に帰ってくる」とのお話に共感しました。





かね こ まさ し  
**金古 正士**さん

前橋市男女共同参画審議会会長  
元粕川村教育長

## 母や姉への女性差別に 疑問を感じる

前橋市男女共同参画審議会の会長を務める金古正士さんには、男女平等意識を決定した少年時代の思い出があります。当時は太平洋戦争中で、男性は皆兵隊に行きました。金古さんは女性のきょうだいが多く、そのため村の人が「役立たずの女ばかり生んで」とお母

さんを非難したりしました。

また、お姉さんたちが女学校に進学すると「女に学問はいらない」などと言われました。さらに、神話を事実と強弁する学校教育にも疑問を感じました。こうした差別や迷信を無くすには、まず世界のことをよく知らなくてはならないと決意し、大学で地理や歴史を学んで教員になりました。

## すべての人々に尊厳を

金古さんは、人が勉強するのは「財産や地位を得るため(Learning to Have)」よりも「存在することを学ぶ、地球に生きるために学ぶ(Learning to Be)」であるべきだと考えています。

また、若い頃からJRC活動に関心を持ち「すべての人々に人間の尊厳を(Dignity for All)」という標語に共感したのは少年時代の体験が大きく作用しています。

差別を無くすため、真実を知るために勉強する、という姿勢は、教

育の場でも生かされ、担任した学級の生徒や、教頭、校長となった学校の中で、人間らしい教育という形で実現しました。

変わらぬ初心を持って、社会のために貢献したいと考え、教員退職後は前橋市男女共同参画推進協議会に加わり、県内初の条例作りに尽力されました。現在は男女共同参画審議会の会長をされ、男女共同参画室の歴史の中でなくてはならない存在となっています。

## 真の男女平等を目指して

「子どもの頃、一生懸命に頑張っている母や姉のことを、村の人が『女だから』というだけで貶めたことが忘れられませんね。戦後は随分と良くなりましたが、まだ男女の差別は残っています。平等のために役に立てればと思い、頑張っています」と穏やかに語る金古さんに、共同参画社会実現への熱い想いを感じました。

(取材・記事：高坂、鈴村)



## 第2回 11月20日(金)

### 「めざせ!人生の達人」

～ヒゲおじさんの生活を楽しむコツ～

さとう けいいち  
**佐藤 恭一**さん

元るなばあく園長

飄々として、目の前にいるとほんわか温かくなる方で、料理の達人でもあり、新聞に料理のコラムを連載されています。冒頭、夏目漱石の俳句を引用され、「拙に処す(自分を見失わない)これが本日の内容」と話されました。「生活を楽しむ為には楽しく生きる事のできる場所が必要。定年後の自分の居場所(逃げ場)を家庭に求めるのではなく、自分で作る・探すことが大切。近道は地域デビュー。楽しく生きるコツは生き続けること。その意義を見出すこと。色々な人に出会うことから自分自身の今を理解すること」と人・地域との繋がりの大切さを語られた言葉に晩秋の柔らかな陽射しを感じたひと時でした。



## 第3回 11月27日(金)

### 「だから人生は面白い」

～「男の帰宅大作戦」から「キャベツ畑の中心で妻に愛を叫ぶ」まで～

やまな きよたか  
**山名 清隆**さん

日本愛妻家協会事務局長

とにかく楽しい、ワクワクした2時間でした。誰も考えない事、できると思わない事に挑戦し、独創的な発想でユニークな企画を次々に実践されています。近年はSOCIMO(ソーシャルモチベーション：一人の人が社会に積極的にアプローチしていく動機)マネジメントを提唱。「妻という最も身近な赤の他人を大切にすると世界はもっと豊かで平和になるかも」と発想し、「日本愛妻家協会」を発足。「キャベツ畑」は人間ドラマを沢山生んでいます。

「私という制限を越えていく(自分越え)」 「ソシモ度を高めよう」「素直って素敵だよ」という言葉が強く心に響きました。



## 海外レポート～ホンジュラスからの手紙～

海外の男女共同参画事情や海外で活躍する“前橋人”について皆さんに知っていただくため、JICA(※)シニアボランティア(SV)としてホンジュラスに派遣されている池田智子さんのレポートをお送りします。



池田さんは前橋市国際交流協会にて長年ボランティアをしており、2005年に夫の清博さんがJICAシニアボランティアとしてチリに派遣された時に同行した事をきっかけに、帰国後日本語教授法について勉強。2009年1月より2年間日本語教師としてホンジュラスに赴任することになりました。今回は清博さんが智子さんのサポートをしています。

みなさんこんにちは。私は今、中米にあるホンジュラスの第二の都市サンペドロスーラの教育大学で日本語を教えています(写真)。この大学では、高校を卒業してすぐに幼稚園や小・中学校で教師として働いている人達や、会社などで職についた人達が、正式な資格を取るために夜間勉強に励んでいます。

今回は大みそかに近所の家に招待されたのでその時の様子をご紹介します。

家族や親戚が集まり、特に女性は着飾り、小さな子供までドレスリーなドレスでおしゃれをします。軽い飲み物やロンパバというこの時期にだけ飲むお酒を飲みながら音楽を聴いたり、おしゃべりをしたりして午前0時になるのを待ちます。

年越しの瞬間は至る所で爆竹が鳴り出し、時折夜空に花火が打ちあがります。シャンパンで乾杯をして皆抱き合い、新年を祝います。チキンをメインにした軽い食事をして、サルサやメレンゲのダンスが午前4時ごろまで続きます。

この国では「家族」が重視され、誕生日などのイベントの時には盛大に祝い、日曜日に家族と過ごすことが基本のようです。

※ JICA(ジャイカ)独立行政法人国際協力機構



ホンジュラスの国土は日本の三分の一、人口は750万人、公用語はスペイン語。ここサンペドロの気候は前橋の8月のようで温度は高くさらに照りつける太陽の光は強烈です。おもな産業は農業でバナナや砂糖、パームオイルを輸出しています。

カソリック信者が多く、日本のメーカーの車や電気製品などがあふれています。

## 男女共同参画室だより

### 男女共同参画川柳

#### 受賞作品発表!

男女共同参画に関する理解を深めていただくため、市民の皆様から川柳を募集したところ127点の作品が寄せられました。

受賞作品は次のとおりです。

#### 市長賞

パパとママ  
合作

美味鍋の  
い事  
茂木恭子

#### 優秀賞

家事当番 仲良くきめる 共稼ぎ  
後藤 敬子  
性別は 問わぬ社会に ある調和  
秋山林次郎

#### 佳作

共稼ぎ 家事分担で 育てた子  
勢 藤 隆  
朝食後 茶碗を洗う 父がいる  
富田 知雅  
いそがしい 朝はパン焼き お父さん  
狩野 哲 於  
爺ちゃんが 孫に教える 皿洗い  
星田 田鶴子  
家事育児 頼れるパパの 力こぶ  
富田 ゆう子

#### 編集後記

編集に携わって4年。紙面からはゆっくり、しかし着実に「男女共同参画」が市民権を得つつあることがうかがえ、嬉しいかぎりです。(橋本)

発行日:平成22年3月15日 編集:「新樹」編集委員

発行:前橋市 いきいき生活課 男女共同参画室 〒371-0023 前橋市本町一丁目5-2職員研修会館2F

直通電話:027-898-6517 FAX:027-221-6200 メールアドレス:sankaku@city.maebashi.gunma.jp

<<「新樹」をご希望の方はご連絡ください。23号のご意見・ご感想もお待ちしております!>>